

もっとよんでみる？

🔍 マークはシリーズ・類似書（るいじしょ）があります

分るい	ほんのだいめい	かいたひと	しゅっぱんしゃ
2 る い	月とアポロとマーガレット	ディーン ロビンズ／ぶん ルーシー ナイズリー／え 鳥飼 玖美子／やく	評論社
	発明家になった女の子マッティ	エミリー アーノルド マッカーリー／作 宮坂 宏美／訳	光村教育図書
	やまとゆきはら白瀬南極探検隊 🔍	関屋 敏隆／さく	福音館書店
4 る い	「いたいっ！」がうんだ大発明 ばんそうこうたんじょうものがたり	バリー ウィッテンシュタイン／文 クリス スー／絵 こだま ともこ／訳	光村教育図書
	時間のコレクション	飯村 茂樹／写真 文	フレーベル館
	カエサルくんとカレンダー 🔍 2月はどうしてみじかいの？	いけがみ しゅんいち／文 せきぐち よしみ／絵	福音館書店
	あべ弘士どうぶつクイズ教室	あべ 弘士／著	クレヨンハウス
	子ネコはかんどふさん 🔍 (森のお医者さん1)	竹田津 実／作 写真	国土社
	数字はわたしのことば ぜったいにあきらめなかった数学者ソ フィー・ジェルマン シェリル	バードー／文 バーバラ マクリントック／絵 福本 友美子／訳	ほるぷ出版
	みずたまレンズ	今森 光彦／さく	福音館書店
	ホネホネどうぶつえん 🔍	西澤 真樹子／監修 解説 大西 成明／しゃしん 松田 素子／ぶん	アリス館
	もしも地球がひとつのリンゴ だったら	デビッド J.スミス／文 スティーブ アダムス／絵 千葉 茂樹／訳	小峰書店
5 る い	エルトウールル号の遭難 トルコと日本を結ぶ心の物語	寮 美千子／文 磯 良一／絵	小学館 クリエイティブ
	この計画はひみつです	ジョナ ウィンター／文 ジャネット ウィンター／絵 さくま ゆみこ／訳	鈴木出版
	熱気球はじめてものがたり	マージョリー プライスマン／さく 福本 友美子／やく	フレーベル館
7 ・ 8 る い	ラスコーの洞窟 ぼくらの秘密の宝もの	エミリー アーノルド マッカーリー／絵と文 青山 南／訳	小峰書店
	名曲を聴きながら旅する オーケストラの絵本	ロバート レヴァイン／文 メレディス ハミルトン／絵 たかはし けい／訳	プレジデント社
	しりとりあいうえお	石津 ちひろ／文 はた こうしろう／絵	偕成社
	なぞなぞあそびえほん	角野 栄子／さく 長谷川 義史／え	のら書店



『うちどくりスト あたらしいちしきのほん』

平成31年3月31日 発行

編集：小郡市立図書館

<http://www.library-ogori.jp/>

〒838-0142 福岡県小郡市大板井136-1

電話：0942-72-4319

うちどくりスト

あたらしい

ちしきのほん



この30年で出版された
オススメちしきのほんのリスト

保護者の方へ

「家読（うちどく）」は「家庭での読書」の略語で、「朝読」（朝の読書の略）の家庭版として考えられたものです。家族で読書の習慣を共有し、本を介した家族間のコミュニケーションがはかれることを目的としています。

また、家庭でも本と親しむ時間もたれることは、子どもの成長にとって大切な読書の習慣を身につけることにつながります。「家読（うちどく）」に、これといった決まりはありません。それぞれの家庭にあった方法で取り組んでください。

読解力が十分に育っていない子どもには、まわりの大人が読んであげることが、本を楽しむ一番の近道ですが、まずは、気軽に取り組めることから始めてみましょう。

小郡市立図書館

れきし・しゃかい・ひと

「さがしています」



童心社

アーサー・ビナード／作
岡倉 禎志／写真

1945年8月6日広島に投下された原子爆弾によって失われたものたちの声。広島から平和を考える本です。

*表紙の「鍵束」は中村明夫氏の寄贈。広島平和記念資料館所蔵

「シャクルトンの大漂流」



岩波書店

ウィリアム・グレル／作
千葉 茂樹／訳

20世紀のはじめ、シャクルトン船長ひきいる探検隊が、南極大陸の横断をめざした大ぼうけんの記録です。

「世界でさいしょのプログラマー」



評論社

フィオナ・ロビンソン／著
せな あいこ／やく

世界でさいしょのコンピュータがつけられた100年以上も前に、コンピュータの計算法を考えていた女性がいました。

「1ねん1くみの1にち」



アリス館

川島 敏生／写真
文

ある小学校の1年生の教室をのぞいてみましょう。わいわいガヤガヤとにもぎやかです。本を見る人も学校にいるような気分になれます。

「せかいでさいしょのポテトチップス」

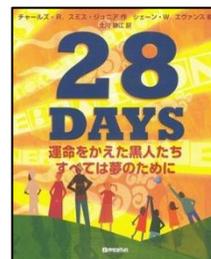


千葉 茂樹／訳
B L出版

フェリシタ・サラ／文
絵

みんなが大すきなパリパリのポテトチップス。このおいしい食べものができたのは、あるコックさんとお客さんの出会いからでした。

「28DAYS 運命をかえた黒人たち」



北川 静江／訳
バベルプレス

チャールズ・R・スミス
シェーンW・エヴァンス／作
絵

アフリカ系アメリカ人の歴史を、28の人物と出来事でふりかえります。日本では、あまりなじみのない黒人文化を知ることができます。

くらし

「そらのうえの そうでんせん」



アリス館

鎌田 歩／作

外のけしきをみまわすと、電柱から家にのびる、そうでんせん。高い電柱にのぼって、そうでんせんの安全を守る人の仕事をしようかします。

「もしも宇宙でくらしたら」



WAVE出版

山本省三／作
村川 恭介／監修

近いしょうらい、人が宇宙でくらす日がくるかもしれません。この本で、宇宙でのくらしをたいけんしてみましょう。

「ふくはなにからできてるの?」



福音館書店

佐藤 哲也／文
網中 いづる／絵

毎日きている服は布でできていますね。布は糸で、糸はせんいでできています。では、せんいは何からできているのでしょうか。

げいじゅつ

「家をせおって歩く」

福音館書店



村上 慧 / 作

発泡スチロールで作った家をせおって、日本全国をくらし歩いた村上さんの1年間の記録です。発砲スチロールの家って暮らしやすいのかな？

「しんぶんしあそび」

ハッピーオウル社



藤本 ともひこ / 著

しんぶんしが1まいあれば、ミイラに変身したり、いろいろなスポーツだってできるよ。かぞくみんなでちょうせんしてみましょう。

「そうだったのか！ しゅんかん図鑑」

小学館



伊知地 国夫 / 写真

人間の目ではとらえることのできない、ものが動くときの「しゅんかん」を写真にとってみると…。びっくりすることまちがいないです。

しぜん・いきもの

「にわのかいじゅうファイル」

アリス館



松橋 利光 / 著

あなたの家の庭にも、かいじゅうが住んでいるって知ってた？身近な虫たちを、じっくりかんさつしてみると、なるほど、かいじゅうそっくりです。

「素数ゼミの謎」

文藝春秋

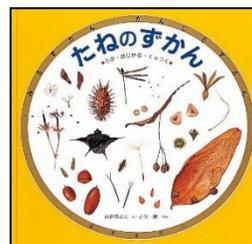


吉村 仁 / 著
石森 愛彦 / 絵

13年か17年に一度、アメリカで何億も大量に現れるゼミがいます。13・17の数字にかくされたナゾとは？理数系が苦手な人でも楽しく読めます。

「たねのずかん」

福音館書店



高森 登志夫 / 文
古矢 一穂 / ぶん

とぶもの、はじけるもの、くっつくもの…あたらしい場所で、花をさかせ実をつけるために、たねは工夫をしています。

「月の満ちかけ絵本」

あすなろ書房



大枝 史郎 / 文
佐藤 みき / 絵

毎日、少しずつ形をかえる月。月にはいろんなふしぎが、かくされています。この本で、毎晩、お月さまを見るのが楽しみになりますよ。

「土の色って、どんな色？」

福音館書店



栗田 宏一 / 著

どこにでもある土ですが、場所によって、色はさまざま。炭のように黒い土、きれいなピンク色の土、まっ白の土。どうして、いろんな色があるのでしょうか。

「日本の鳥の巣図鑑全259」

偕成社



鈴木 まもる / 作 絵

木の上、草むら、水の上、鳥のすがたはみかけても、巣をみることは、めったにありません。大切な卵を守るための巣。鳥の数だけ、たくさんのしゅるいがあります。